

セミナーサービス

設計担当者の安全規格への理解向上や、製品に特化した安全規格に関するオンサイトセミナーを行います。
安全規格への理解を高めることで、規格適合のための設計変更が不要になり、無駄な開発コストを削減できます。
セミナーの内容は、お客さまの課題や、製品、出荷地域などに合わせて、独自のテーマを設定することが可能です。

【開催例】

- 残留リスク対策としての『IEC/IEEE 82079-1:2019』
リスクアセスメント後に不可欠となる残留リスク対策として、
『IEC/IEEE 82079-1:2019』を活用したマニュアルの重要性について解説しました。
- 取扱説明書の『IEC/IEEE 82079-1:2019』適合状況の解説と改善提案
『IEC/IEEE 82079-1:2019』の概要説明と、お客さまのマニュアル診断レポートの
結果について解説しました。
- CEマーキングに適合するための安全マニュアルの作成とその効果
CEマーキング制度において、お客さまの製品に求められる指令の概要と、
それに対応した安全マニュアル作成のポイントについて解説しました。
- 伝わる日本語ライティング～文章品質と文書の構成、翻訳への影響～
日本語品質の重要性と多言語展開時のメリット、文章の品質向上に直結する
テクニックなど、文書品質の向上を実現する要素を解説しました。



無料マニュアル診断サービス — 『IEC/IEEE 82079-1:2019』評価

貴社のマニュアルについて、『IEC/IEEE 82079-1:2019』への適合評価を実施。
今なら無料で簡易レポートを提出します。

安全規格の理解に役立つ、無料ダウンロードコンテンツ

安全規格への理解向上をサポートする、さまざまな無料コンテンツをご用意しています。
ダウンロードはこちら ▶ <http://safety.screen-cre.co.jp/download/>

安全規格の理解を深める無料セミナー

安全規格への理解向上をサポートする無料セミナーを、定期的で開催しています。
お申し込みはこちら ▶ <http://safety.screen-cre.co.jp/seminar/>

詳しくはWebで <http://safety.screen-cre.co.jp/>

製品安全サポートサービス

グローバル市場への
安全な航海をサポート

- ▶ 各国の指令や法規制への適合支援サービス
- ▶ 『IEC/IEEE 82079-1:2019』評価に適合した
取扱説明書、警告ラベルの作成
- ▶ 設計担当者への製品安全知識のトレーニング

『IEC/IEEE 82079-1』評価
無料
マニュアル診断
実施中!!

半導体製造装置メーカーのインハウス会社としての豊富な実績

SCREEN クリエイティブコミュニケーションズは、半導体製造装置の大手メーカーである株式会社 SCREEN ホールディングス
(旧社名：大日本スクリーン製造株式会社) のインハウス会社として、1993年に設立されました。
2004年には、SCREENグループで採用された、各種安全規格に準拠した警告ラベルを販売するECサイト『警告ラベル.com』をオー
プン。SCREENグループの設計・開発部門と連携し、残留リスク対策という観点で、「取扱説明書」や「パーツリスト」、「サービスマニ
ュアル」などを手掛けています。
当社では、SCREENグループで培った実績を基に、さまざまな分野の残留リスク対策をサポートするサービスを展開しています。

その製品、安全ですか？

このように質問された場合、「こういう理由で安全です」と答えられる企業は、そう多くありません。多くの企業が製品を輸出する際、各国の安全規格への対応に苦勞しています。

- Q. 製品の輸出先で必要な法令の安全対策が分からない。
 A. 欧州でのCEマーキング制度など、製品が安全規格に適合する必要があります。
- Q. マニュアルやラベルの安全表記に不安がある。
 A. 製品に残留するリスク情報は、使用説明の国際規格である『IEC/IEEE 82079-1:2019』に準拠した安全表示が必要です。
- Q. 設計担当者が各国の安全規格への理解が不十分。
 A. 安全規格を理解していないと、規格適合のために設計変更が必要になり、無駄な開発コストが発生します。



SCREENクリエイティブコミュニケーションズは、国際的な安全要求の高まりに対応するサービスを提供します。

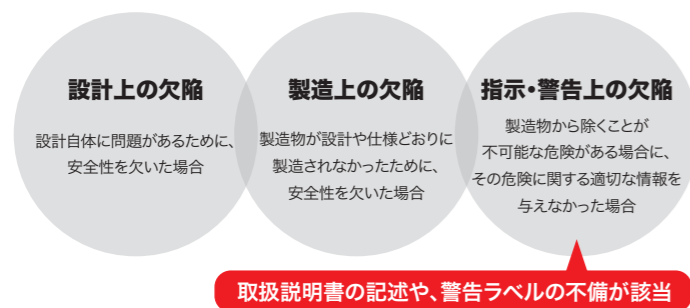
残留リスク対策

▶ 残留リスク対策のエキスパートとしての信頼と実績

近年、工業製品への国際的な安全要求が高まる中、マニュアルなど添付ドキュメントについても安全規格への適合が求められています。リスクを低減するには、出荷先や対象製品の安全規格に準拠した、取扱説明書での安全表記や、警告ラベルの貼り付けが必要です。SCREENクリエイティブコミュニケーションズは、マニュアルの各種規格への適合状況を調査し、残留リスク対策としてマニュアルを制作することで、グローバル市場への安全な航海をサポートいたします。

▶ PL訴訟では、メーカーの「指示・警告上の欠陥」を追及される恐れがあります

- ▶ PL法(製造物責任法)では、メーカーがユーザーに何らかの損害を与えた場合、故意または過失がなくても**損害賠償の責任**を負うようになりました。
- ▶ PL法における「欠陥」には、製品の「**設計上の欠陥**」「**製造上の欠陥**」「**指示・警告上の欠陥**」の3つがあります。
- ▶ メーカーは予見可能な**危険**とその**防止・回避方法**を、ユーザーに**指示・警告**することが求められます。



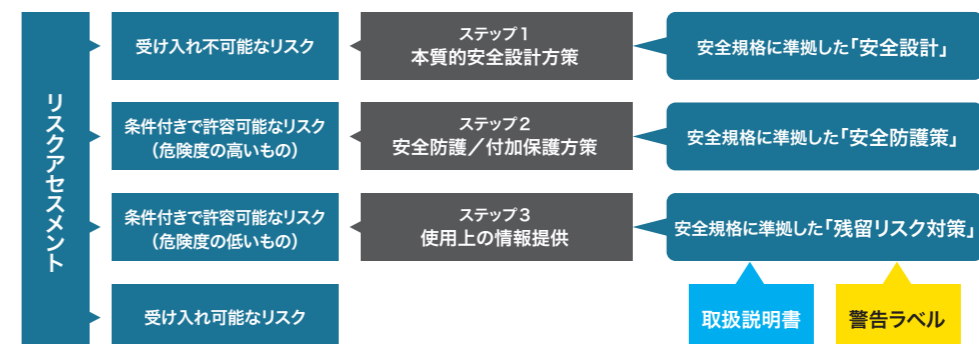
指示・警告上の欠陥が認められた判例

- **資源ごみ分別プレス機・上腕切断事件**
 設計上の欠陥に加え、取扱説明書が作成されておらず、警告ラベルも貼られていなかった。取扱説明書や警告ラベルの不備による「指示・警告上の欠陥」が認められた。
- **無煙焼却炉・火災事件**
 取扱説明書にも、警告ラベルにも、バックファイアの危険性について記載しておらず、「指示・警告上の欠陥」が認められた。



▶ リスクを低減するには、残留リスク対策が必要です

- ▶ 取扱説明書や警告ラベルの不備による「**指示・警告上の欠陥**」が、**製造物責任**を問われる場合があります。
- ▶ 「指示・警告上の欠陥」を回避するには、リスクアセスメント後の**残留リスク**を取扱説明書や警告ラベルなどで**ユーザーに提供する**必要があります。
- ▶ メーカーは、ユーザー自身が**危険を予見できる**ような、分かりやすく**明確な指示や警告**を行う義務があります。



残留リスク対策

▶ マニュアル診断サービス — 『IEC/IEEE 82079-1:2019』評価

さまざまな国際規格や指令、業界標準などを踏まえ、お客さまのマニュアルを診断。
『IEC/IEEE 82079-1:2019』の規格要求への準拠率が分かるマニュアル診断レポートを作成します。



マニュアルを『IEC/IEEE 82079-1:2019』に準拠させることにより、各国の法的要求(消費者保護法、PL法、認証制度、労働安全衛生法など)への準拠が容易になります。
SCREENクリエイティブコミュニケーションズは、お客さまの使用情報(使用説明:取扱説明書、警告ラベル、カタログなど)が、『IEC/IEEE 82079-1:2019』をはじめとした法令、その他の国際規格、欧州指令にどの程度準拠しているかの評価を実施しています。
『IEC/IEEE 82079-1:2019』に基づき当社で作成した**チェックリスト**を使用し、マニュアルを診断。非準拠箇所については、具体的な**改善ポイント**をまとめた**レポート**を提出します。

マニュアル診断レポートサンプル — IEC/IEEE 82079-1:2019 ダウンロード

『IEC/IEEE 82079-1:2019』への準拠率が一目で分かるマニュアル診断レポートの概要を、ぜひサンプルでお確かめください。
ダウンロードはこちら ▶ <http://safety.screen-cre.co.jp/download/>

▶ マニュアル制作サービス

お客さまの社内体制やご要望に合わせた、最適なマニュアル制作フローをご提案します。
共同編集システムや翻訳支援サービスなどにより、制作時間短縮や制作コスト削減も実現します。



▶ 警告ラベル制作サービス

『警告ラベル.com』は、ISO、SEMI、ANSI、GBなど、各種安全規格に準拠*。また、労働安全衛生法の観点から、作業ワークフローの安全対策としてもご利用いただけます。製品の残留リスク対策は、『警告ラベル.com』にお任せください。



※ 対象製品の各種安全規格への準拠を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

▶ 安全マニュアル制作サービス

お客さまが作成されたリスクアセスメントシートに記載されている残留リスクと、製品が適合する安全規格の情報を基に、『IEC/IEEE 82079-1:2019』をはじめとする各種安全規格に適合したシンボルマーク・シグナルワード・文字メッセージを使用した安全マニュアルを制作します。
もちろん、日本語はJIS、英語はANSI、フランス語はISOなど、言語や仕向地ごとの安全規格にも対応します。

●安全マニュアル

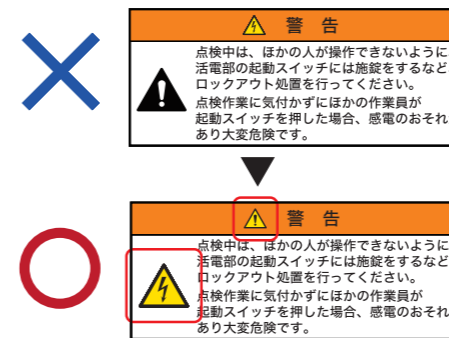
安全マニュアルは、同一系統で多数のラインアップを展開している製品に有効です。同一ラインアップの安全に関する記述を、一つの安全マニュアルに統一することで、規格改訂に伴う更新作業の省力化、データ管理の効率化、印刷コストの削減に効果を発揮します。
さらに、日英だけでなく欧州言語も含めた多言語展開が必要な場合、その効果はさらに高まります。
SCREENクリエイティブコミュニケーションズは、残留リスクのエキスパートとして、企画からライティング、レイアウト、翻訳まで、安全マニュアル制作のワンストップサービスを提供します。

●安全の章

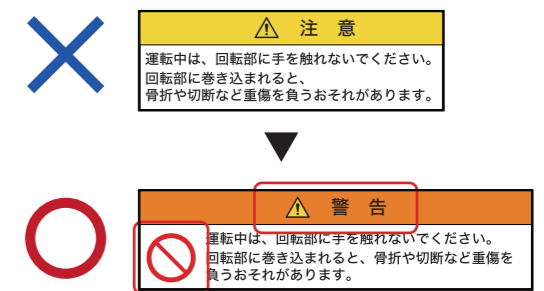
安全の章は、取扱説明書における安全に関する記述方法として最も一般的です。
SCREENクリエイティブコミュニケーションズは、取扱説明書の「安全の章」のみの制作にも対応します。
今まで日本国内でしか販売していなかった製品の急な海外出荷決定など、予算と納期が限られた場合に有効です。
安全に関する記述は、『IEC/IEEE 82079-1:2019』をはじめ各種規格のノウハウがある当社が担当し、操作説明に関する部分は、製品知識のあるお客さまが担当することで、リスク対策だけでなくコスト削減とリードタイム短縮に効果を発揮します。

よくある安全表記の不適合例

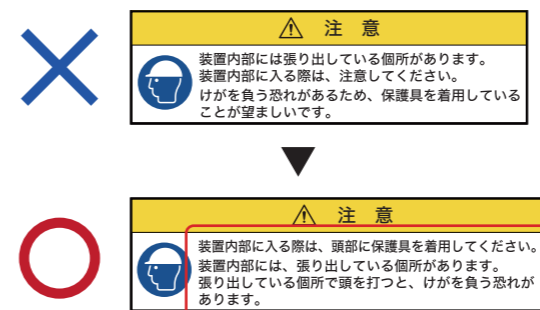
●「シグナルワード」と「シンボルマーク」の組み合わせが不適切。



●「シグナルワード」のレベルが不適切。「シンボルマーク」が表記されていない。



●「文字メッセージ」の内容が不適切。



●仕向地の規格に適合した「シンボルマーク」が使用されていない。



残留リスク対策

▶ 多言語マニュアル制作ソリューション

● Adobe InDesign / Adobe FrameMaker / Microsoft Word

InDesign、FrameMaker、WordなどのDTPアプリケーションのテキスト情報をTradosに取り込み、翻訳を行います。Tradosでの翻訳結果は、自動的にDTPアプリケーションに書き込み、後は文字数の増減によるレイアウト調整を行うだけなので、大量ページのドキュメントの多言語展開におけるコスト削減・リードタイム短縮に、効果を発揮します。



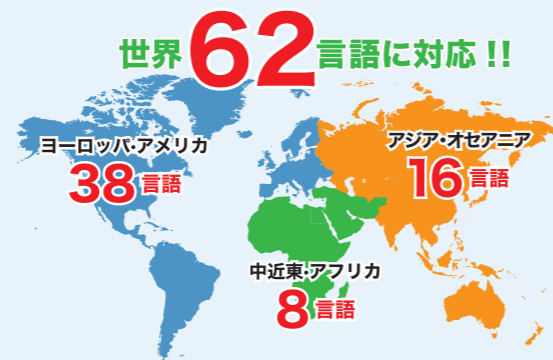
● Adobe Illustrator

Illustratorのテキスト情報をXMLに書き出すことによって、Tradosと連携。自動組版で培ったノウハウを活かし、IllustratorとTrados間での翻訳テキストのインポート/エクスポートを実現しました。これにより、レイアウトアプリケーションだけでなく、配置イラストも含めたドキュメントの多言語展開を効率化するソリューションを提供します。



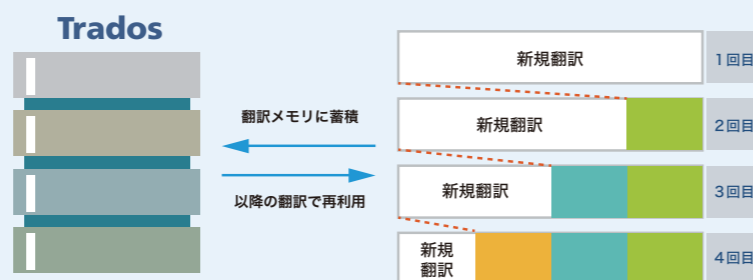
▶ 世界62言語に対応した、豊富な翻訳ネットワーク

SCREENクリエイティブコミュニケーションズは、世界60以上もの言語をカバーする国際的な翻訳ネットワークを構築し、お客さまをサポートします。グローバル化する現在、英語だけでなく現地語へのローカライズが求められています。特に、世界経済のけん引役として大きな可能性を秘めている新興国、BRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)やVISTA(ベトナム、インドネシア、南アフリカ、トルコ、アルゼンチン)は、ほとんどが非英語圏です。グローバル市場での競争力の強化には、読み手や使い手に正しく伝わる現地の言葉を使うことが重要です。



▶ Tradosを活用した翻訳で、QCDを向上

SCREENクリエイティブコミュニケーションズは、翻訳支援ソフトウェアSDL Trados Studioの活用により、過去の翻訳の再利用を推進しています。Tradosは、一度翻訳した文章を「翻訳メモリ」として蓄積。文中の繰り返し文・類似文を以降の翻訳に再利用することで、お客さまの翻訳業務の品質向上、コストダウン、リードタイム短縮をサポートします。



回を重ねるごとに新規翻訳の割合が減少し、コスト削減に大きな効果が期待できます。

規格適合サポート

▶ さまざまな安全規格への適合をサポート

近年、労働安全衛生に関連する法律が各国で強化されています。

2013年2月13日には、欧州委員会から「市場監視規則 (Market Surveillance Regulation: MSR)」と呼ばれる新たな規則案が発表されました。これによって、欧州での製品への安全性適合要求がさらに厳格化されることが予想されます。さらに、欧州の安全規制は、アジア地域をはじめ欧州以外の地域でも採用されつつあります。

このような国際的な安全規格の高まりに対し、規格の調査や適合のサポートを行うのが、第三者認証機関やセーフティーコンサルタントです。SCREENクリエイティブコミュニケーションズは、お客さまの製品や輸出先に最適なエキスパートをコーディネートします。

SCREEN クリエイティブ コミュニケーションズ	第三者認証機関	EU加盟各国の当局が指定する製品評価機関です。CEマーキング制度における適合証明書を発行できます。
	セーフティーコンサルタント	各国の安全規格への適合サポートを行います。輸出先で必要となる安全規格を調査し、製品のリスク低減策をお手伝いします。
	試験所 (テストラボ)	EMC試験や各種安全試験を行います。大型装置の場合は、オンサイトテストも可能です。

▶ 製品安全の基礎知識

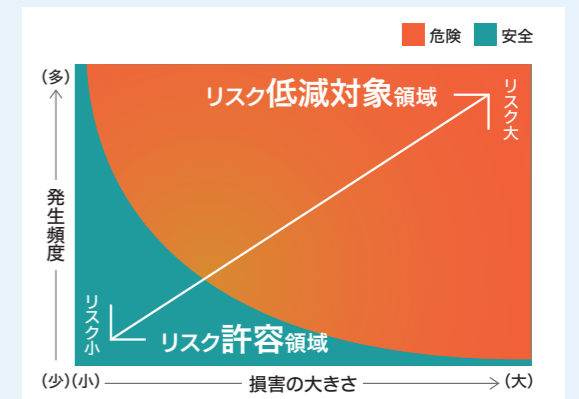
一般的には、安全であるということは、利用しているユーザーに「危害」が及ばないことを指します。国際規格『ISO/IEC Guide 51』では、「危害」をリスクと表現し、以下のように定義しています。

リスク=危害の発生確率及びその危害の程度の組合せ

したがって、損害が小さくても頻りに発生する場合は「リスクが大きい」と判断されます。そして、全ての面においてこのリスクが許容範囲内であれば、「安全」といえるのです。

安全=「許容できないリスク」が無いこと

と、国際規格『ISO/IEC Guide 51』では、定義されています。



▶ 安全規格とは

グローバル市場に向けて製品を販売するためには、各国の安全規格や法規制に適合する必要があります。安全規格は、大きく4つの階層に分類できます。

- 国際規格:** ISO、IECなど世界各国共通の規格。
- 地域規格:** EU加盟国で適用されるEN規格など、限定された地域で使用される規格。
- 国家規格:** 日本国内でのみ使用される、JIS規格のような1国内の規格。
- 団体規格:** 半導体業界で使用されるSEMIスタンダードなど、特定の業界の規格。

これらの規格は国際規格と協調することで、内容の統一が図られています。製品を輸出するためには、求められる全ての規格に適合する必要があります。

